令和6年度
第2回高松市地域部活動検討委員会
令和7年1月17日

高松市教育委員会

令和6年度 第２回高松市地域部活動検討委員会　次第

１　開会
２　新委員長の選出について
３　令和６年度の取組について
　　～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
　　（１）実証事業
　　（２）部活動地域移行支援コーディネーターの活動報告
　　（３）部活動地域移行支援コーディネーターからの提案
４　その他
５　閉会

令和6年度 第２回高松市地域部活動検討委員会役員（変更欄を赤字にしています。）

区分	氏名	所属等	役職
学識経験者	米村　耕平	香川大学	香川大学教育学部　教授
教育関係団体の役員	溝渕　隆弘	高松市立紫雲中学校	高松市中学校長会　会長
	森川　淳一	高松市立太田南小学校	高松市小学校長会　会長
	仁谷　美樹	高松市立香川第一中学校	高松地区中学校体育連盟　会長
	森山　　恵	高松市立協和中学校	香川県女子体育連盟　代表
	上村　和則	高松市立下笠居中学校	香中研高松支部音楽部会　会長
	辻　　佳宏	高松市PTA連絡協議会	高松市PTA連絡協議会　代表
体育・スポーツ ・文化関係団体の役員	岡　　路人	（公財）高松市スポーツ協会	（公財）高松市スポーツ協会　理事
	河野　徹夫	高松市総合型地域SC連絡協議会	高松市総合型地域SC連絡協議会　会長
	西山　文人	高松市スポーツ少年団	高松市スポーツ少年団　本部長
	臼井　　隆	香川県吹奏楽連盟	香川県吹奏楽連盟　副理事長

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（１）実証事業「牟礼柔道クラブ」

「自走できる地域クラブ活動に向けて」

○活動場所

拠点として使用できる場所があることで、計画的な活動ができ、保護者の輸送への負担感が軽減されている。

○参加生徒

現在、牟礼中学校以外の生徒が、２名在籍。

○指導者

地域指導者を複数人配置して指導実践を図ることで、一人ひとりへの細やかな指導や配慮等、安定した指導環境を整えることができている。（指導内容の共通理解含む）

○活動費用

月会費２,０００円。また、地域企業と協力体制を構築している。

今後に向けての課題

・指導者謝金の確保

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（１）実証事業「勝賀・下笠居軟式野球」

「地域（人材・場所）に根付いた活動体制の充実」

○活動体制の充実

休日：地域クラブ指導者（教員の兼職兼業）
・適切な指導謝金（1,600円/ｈ）の獲得 → 意欲向上

平日：部活動指導員（大学生）
・学生の豊富な人材活用
・生徒との対人関係スキル獲得
・専門的な指導の還元

部活動顧問
・平日の業務負担の軽減と校務への専念

○活動場所（拠点地）

現状、進展がないため継続して、検討中。

今後に向けての課題

・大学生単独での指導の有無（学生への責任）
・部活動顧問の平日の負担軽減と校務への専念

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（１）実証事業「TESC」

「多くの競技の特性に触れ、楽しさを実感するために」

○活動種目（ストリートダンス、弓道、アーチェリー）

　弓道、アーチェリーは、参加希望者が多く、募集人数を大幅に上回り、抽選での参加者決定となった。また、複数種目に参加した生徒もおり、多様な活動に対する生徒のニーズの高さが見受けられた。

○参加生徒

　高松市立中学校以外の在籍生徒計5名参加
　（ダンス：3名/11名、弓道1名/20名、アーチェリー1名/12名）

成果と課題

○競技の特性・本質に触れ、面白さを実感していた。部活動にはない種目等を開催していくことの必要性が浮き彫りになった。

・ダンス：「高松秋のまつり」でステージ発表。
・弓道等：高校入学後、入部をしたいと考える生徒もいた。

●活動回数の確保（弓道等：2回）　●活動種目の選定と拡充

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（１）実証事業【文化部】「吹奏楽部」

「文化部活動の地域移行に向けた実証事業」

○活動場所

香東中学校　音楽室等

○参加生徒

香東中学校部員56人（1年22人、2年9人、3年：25人）

○指導者

地域指導者を複数人配置して、各楽器の演奏技術や管理方法などの専門的なノウハウを生かし、本市の中学校文化部活動の実態に即した実証事業を行う。

指導者数　5人　　指導回数　12回（R６・11～R７・2）

成果と課題

○複数の地域指導者が同時に各パートの指導ができるため、生徒の技能が向上した。

○専門の楽器の地域指導者がおり、部活動顧問がカバーできないところも指導してくれる。生徒が安心して練習したり、質問したりできている。

○いろんな人が指導してくれるため、練習がマンネリ化しない。

●休日の運営主体も部活動顧問が行っているので、地域移行にはなっていない。

今後の進め方

本市において地域で文化部活動を運営していくためのよりよい運営実施主体の在り方を探りたい。

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（２）部活動地域移行支援コーディネーターの活動報告

部活動の現状や地域移行に対しての聞き取り結果

【校長（競技部会長）】
・地域移行に前向きな校長先生方が多い。
・教師の働き方改革と部活動運営の両立で悩んでいる。
・自治体主導で行ってほしいという意見も多い。　等

【体育主任・中体連専門委員】
・地域移行に前向きであり進めていかなければならないと受け止めているが、スムーズな移行は難しいと考えている割合が多い。
（受け皿、指導者や活動場所の確保、制度の確立、予算、責任の所在、大会運営、指導者と生徒の信頼関係　等）
・生徒の活動実施方法としては、拠点校方式や市と連携したクラブ、民間クラブで進めることがスムーズな移行につながると考えている割合が多い。　等

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（２）部活動地域移行支援コーディネーターの活動報告

部活動の現状や地域移行に対しての聞き取り結果

【競技団体】
- 地域移行に関して競技団体での温度差が大きい。
- 指導者の定期的な派遣は難しい。　等

【生徒】
- 学校には無い部活動をしてみたかったという意見の生徒もいた。（選択肢が限られており、子どものニーズに対応しきれていない。）
- 地域移行に関して聞いたことがあるが、自分たちに影響がないため、興味関心の低い生徒も多い。
- 地域移行した際に、信頼できる指導者に巡り合えるか不安に思っている生徒もいた。
- 顧問が専門ではなかったため、専門的な指導を受けたかったと考えている生徒もいた。　等

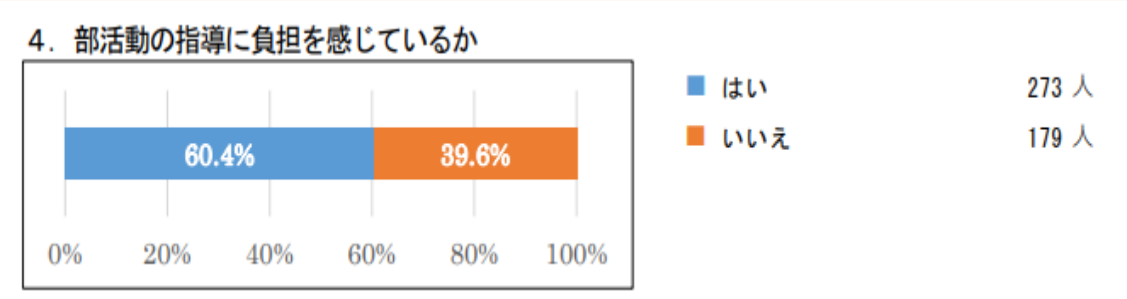
3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（２）部活動地域移行支援コーディネーターの活動報告

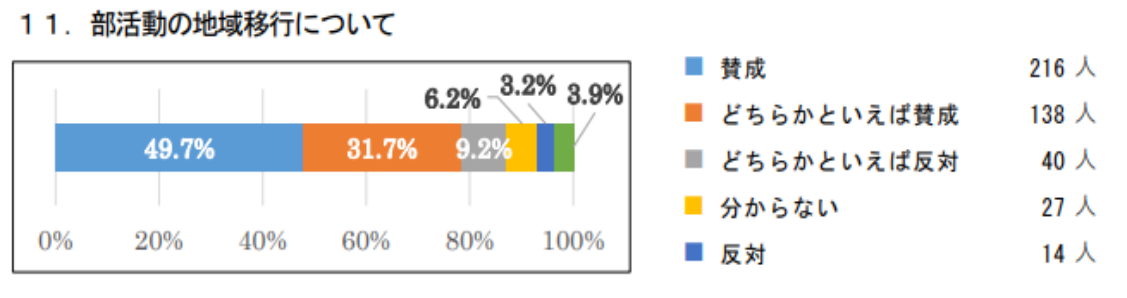
高松市の現状

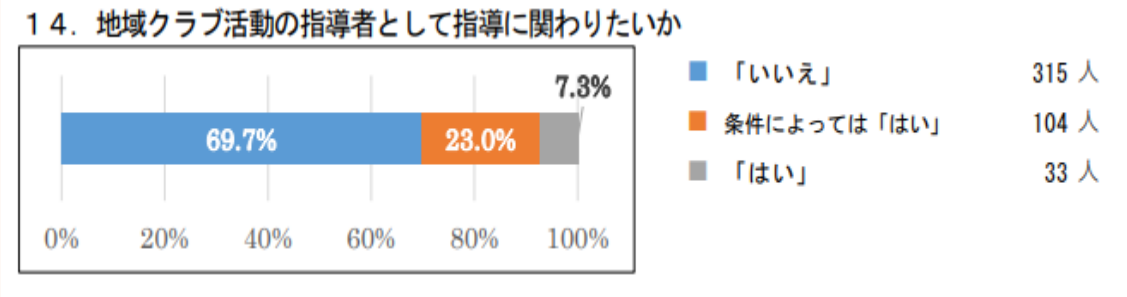
○生徒数（5/1現在）
- 中３　３,６２７人
- 小１　３,３１７人
- ０歳　２,５８１人「参考」

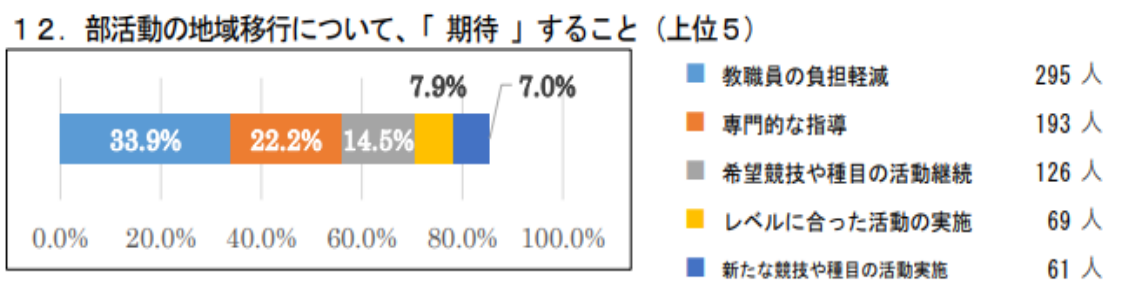
約３００人減

○Ｒ５ 部活動等調査【 教職員 回答結果 】より









拠点校・合同部活動で数を減らすだけの方法では、

①持続可能な運営体制や指導者の確保が難しい
- **教員が人事異動を伴うため、継続的な指導者配置ができない**
- **生徒の減少に伴う部活動再編の多発（計画性のない統廃部）**

②生徒の多様なニーズに対応できない
- **生徒が本当に行いたい活動ができない**

今後に向けて・・・

目の前だけを見て判断して進めていくのではなく、高松市（子どもや学校）の現状を踏まえて、１０年後、２０年後を見据えた子どもたちにとって魅力あふれる持続可能な取組にしていかなければならない。

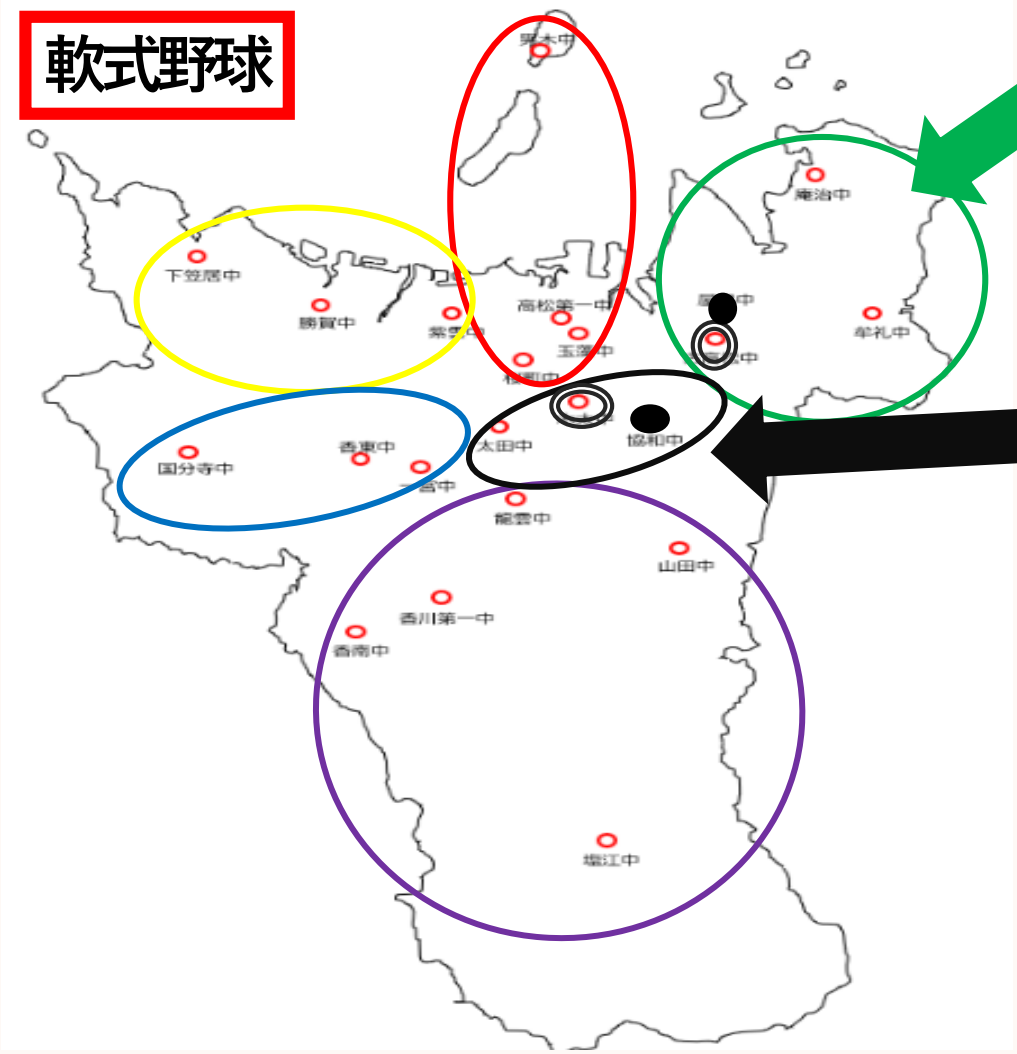
→　現状の体制維持では、難しいと考える。

平日を含めた地域移行について

・平日と休日で指導者が異なることを教員や生徒等が不安に感じる意見があったため。
・平日と休日の活動が異なると責任の所在が不明確になることや連携が難しくなるため。
・平日に部活動を受け持つ教員の負担の軽減にならないため。
・近隣県の市では、平日を含めて地域移行する方針を示している中で、教員関与の仕組みを続けていくことは、今後の教員確保の観点からも現実的ではないため。
・これまで当たり前のように与えられた枠組みの中で活動してきた放課後や休日の時間について、学習やスポーツ、文化活動を含めて、その過ごし方を自分で主体的に考え、判断するきっかけにしていくため。

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（３）部活動地域移行支援コーディネーターからの提案

活動例



○○チーム【Ｃｈａｍｐｉｏｎ】
場所：○○中運動場
日数：週3回（水・土・日）
時間：平日16：00～18：00　休日9：00～12：00
指導者：大荒（教員）、河田（教員）、増田（地域）
会費：月5,０００円

△△チーム【Ｆｒｉｅｎｄｌｙ】
場所：△△中運動場
日数：週2回（木・土）
時間：平日16：30～18：00　休日9：00～11：00
指導者：田中（教員）、土居（地域）、後藤（地域）
会費：月1,５００円

□□チーム【Ｃｈａｍｐｉｏｎ】
場所：□□中運動場
日数：週4回（月・水・金・土）
時間：平日17：00～19：00　休日13：00～16：00
指導者：松本（教員）、兵頭（教員）、池内（地域）
会費：月5,０００円

☆☆チーム【Ｆｒｉｅｎｄｌｙ】
場所：☆☆中運動場
日数：週2回（火・木）
時間：平日16：00～17：00
指導者：白井（教員）、藤本（地域）、斎藤（地域）
会費：月1,５００円

※　原則ブロック内のチームに参加することを前提（個々が自転車等で通える範囲）
※　移動手段は、徒歩か自転車で移動。もしくは、保護者送迎
※　受益者負担を求める（生活困窮世帯への支援の検討も必要）
※　スポーツ安全保険（生徒：８００円）への加入義務化
※　中学校だけではなく小学校も活用できるように検討

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（３）部活動地域移行支援コーディネーターからの提案

タイムスケジュール

新たなスポーツ環境
（恒久的に続く活動）

	令和７年度	令和８年度	令和９年度
高松市（コーディネーター）	・学校、生徒、保護者、市民への情報発信 ・高松市地域移行推進計画の作成 ・高松市部活動ガイドラインの見直し ・活動チームの確保や設置に向けて ・活動場所の確保や配置に向けて ・指導者の確保や配置に向けて ・想定される課題の解決に向けて	・学校、生徒、保護者への説明 ・市民への情報発信 ・活動体制の確立 （活動チームの設置や場所、指導者の配置） （規程や月謝等の設定） ・参加生徒の募集 ・指導者研修会の開催 ・活動チームへの支援方策の検討 ・自走できる仕組み作り（各チームの会費等の規定作成の支援） ・協力企業や団体の募集 ・事前体験会等の開催（R8年度、中１・小６対象）	・R９地区総体終了後から順次開始
生徒	・現状の部活動等での活動		・ 新たなスポーツ環境での活動開始 ・必要経費は、受益者負担を原則とする。

3　令和６年度の取組について～新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に向けて～
（３）部活動地域移行支援コーディネーターからの提案

地域移行に向けての課題

	予測される問題	解決策
①	必要経費について	公費だけでなく民間からの寄付（スポンサー）や、収益事業の実施方法の検討。
②	指導者確保について	TASS登録指導者、退職教員、民間指導者等に対し広く募集。また、現職教員の希望者も指導に従事してもらう。（兼職兼業）
③	活動場所について	中学校、公共施設以外に、民間施設や高校・大学等に協力を依頼。

・活動場所が遠くなること（送迎）や活動費の必要性による保護者の多忙感と負担感
・総括して進めていく組織の多忙化（組織の構築および運営等）
・既存の部活動との違い（意識転換）「教職員・生徒・保護者・社会」
・教員の勤務について（兼職兼業等）
・学校へのクレーム対応（事案確認からはじまり、教員の負担が増える場合が考えられる。）
・活動場所の確保（16:00～19:00の場所と19:00～の場所）（鍵の管理と学校開放）
・下校時刻の変更（活動場所への移動を考えると、現状の時間では、16：00～の活動が難しい。）
・指導者数の確保（謝金額が少なければ確保が困難になる可能性が生まれやすい。）
・指導者講習（研修）会を含む指導者資格体制の確立
・安全面と責任体制の構築　　等

資料【スポーツ庁及び文化庁】

・部活動改革に伴う学習指導要領解説の見直しについて（概要）

・「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ（概要）